

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型) 最近の基準価額の下落について

追加型株式投資信託/バランス型/累積投資適用



運用状況等

最近の基準価額の下落と変動要因について

【最近の金融市場と基準価額の動きについて】

(2008年8月29日～10月30日)

世界的な金融市場の混乱は、9月の米大手証券会社の経営破綻をきっかけに一層深刻化しました。市場の信用不安の高まりから投資家のリスク回避の動きが急激に強まり、世界的に株価が急落しました。米欧主要国政府ならびに中央銀行は、金融安定化策の発表や協調利下げなどを実施しましたが、金融不安はまだ完全に払拭されておりません。加えて、実体経済への影響が出始めており、全世界的に景気後退懸念が強まっています。

これらを背景に、米欧債券利回りは短中期債を中心に下落(債券価格は上昇)しました。「質への逃避」的な動きから、米国やドイツなど信用力の高い国債を中心に買いが優勢となりました。米国10年債利回りは3.96%、ドイツ10年債利回りは3.77%で推移しております。為替相場は、対主要全通貨で円高が急速に進行しました。投資家のリスク許容度低下に伴い、円キャリー取引の巻き戻しが急激に進みました。また、一時的な逃避先通貨として円が選好されたことも、円買い要因となりました。対円でドルは9.8%、ユーロは19.8%下落しました。

こうした環境の下、ファンドの基準価額はユーロの下落を中心とした為替相場の影響を受け、9,601円(10/30現在)、当該期間で1,871円の下落となりました。

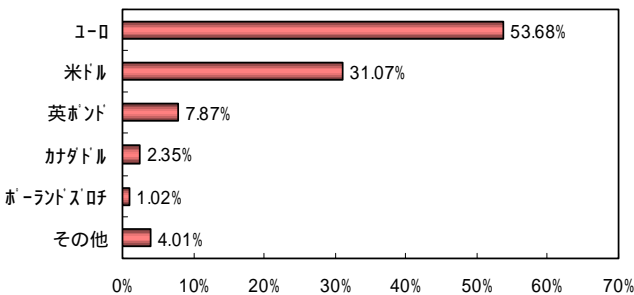
投資通貨ごとの基準価額の変動要因 (単位:円)

(期間:2008年8月29日～2008年10月30日)

	為替要因	債券要因	分配金	信託報酬 その他
欧州・ユーロ	1,271	158	-	-
アメリカ・ドル	332	34	-	-
イギリス・ポンド	176	11	-	-
カナダ・ドル	65	1	-	-
ポーランド・ズロチ	35	2	-	-
スウェーデン・クローナ	23	4	-	-
デンマーク・クローネ	21	1	-	-
オーストラリア・ドル	17	2	-	-
スイス・フラン	11	2	-	-
シンガポール・ドル	11	1	-	-
ノルウェー・クローネ	10	1	-	-
マレーシア・リンギット	1	0	-	-
計	1,972	213	94	18
ファンド合計 (+ + +)			1,871	

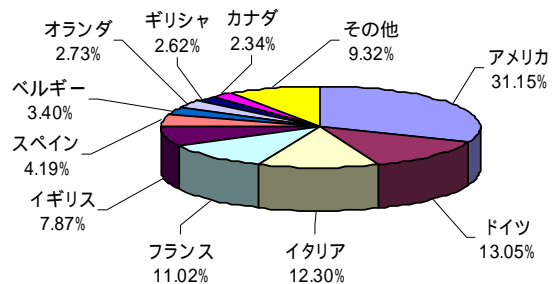
- ・上表の要因分析は、組入債券の値動き、為替変動の影響等が基準価額に与えた影響をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性等を保証するものではありません。また、各要因ごとに四捨五入で処理していますので、各々を合計した値と表記した計の値は一致しないことがあります。
- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

通貨配分



・比率は[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

組入上位10ヵ国



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。なお、市場の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。基準価額および分配金は1万口当たりです。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

今後の見通しについて

ファンド基準価額は、短期的には為替債券相場変動の影響を受けて上下動の大きい展開が続くと予想されます。しかし中長期的には、信用力の高い先進国国債を組入りの中心とするファンド特性から、再び安定推移基調へ戻るものと考えております。今後の相場見通しのポイントは以下の通りです。

市場混乱の収束

現在の各市場は、価値判断よりリスク回避を目的としたポジション解消の動きが中心です。この収束にはしばらく時間を要しますが、その間、安定的な運用先として先進国の国債は買われやすい地合が続くと予想されます。

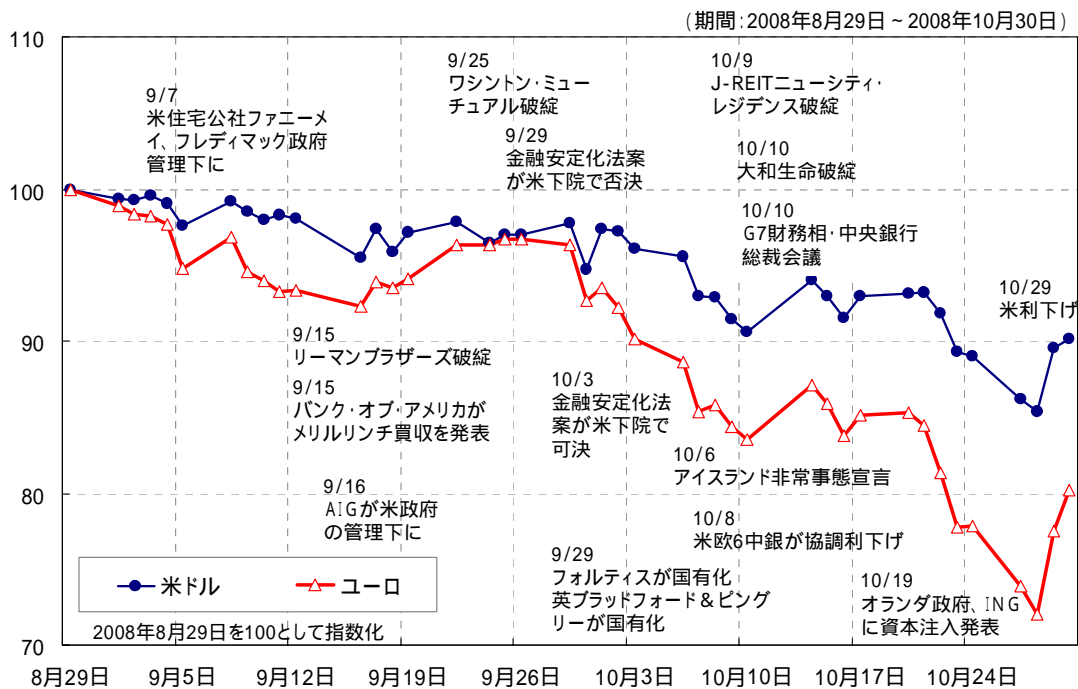
内需を支える財政政策

日本がかつて経験したデフレ危機回避策として、今後は金融政策に加えて、实体经济の底支えを目的とする財政政策の重要性が増すと思われます。先進諸国は、かつての金融危機の教訓を踏まえて迅速に政策対応しており、投資先としての魅力は従前にも増して高まるものと思われます。

多極化の受け皿としてのユーロ

今回の金融危機の反省から、世界は米国への一極集中から徐々に多極化の方向へシフトすると予想しています。その際、成長ポテンシャルの高い東欧地域を抱える欧州連合の統一通貨ユーロは、一つの極として中長期的に資金が集まりやすいものと考えます。

【参考】8月29日以降の主な出来事および為替市場の動向



出所:各種報道より三菱UFJ投信作成

・為替レートは三菱東京UFJ銀行が公表している対顧客電信売買相場の仲値です。

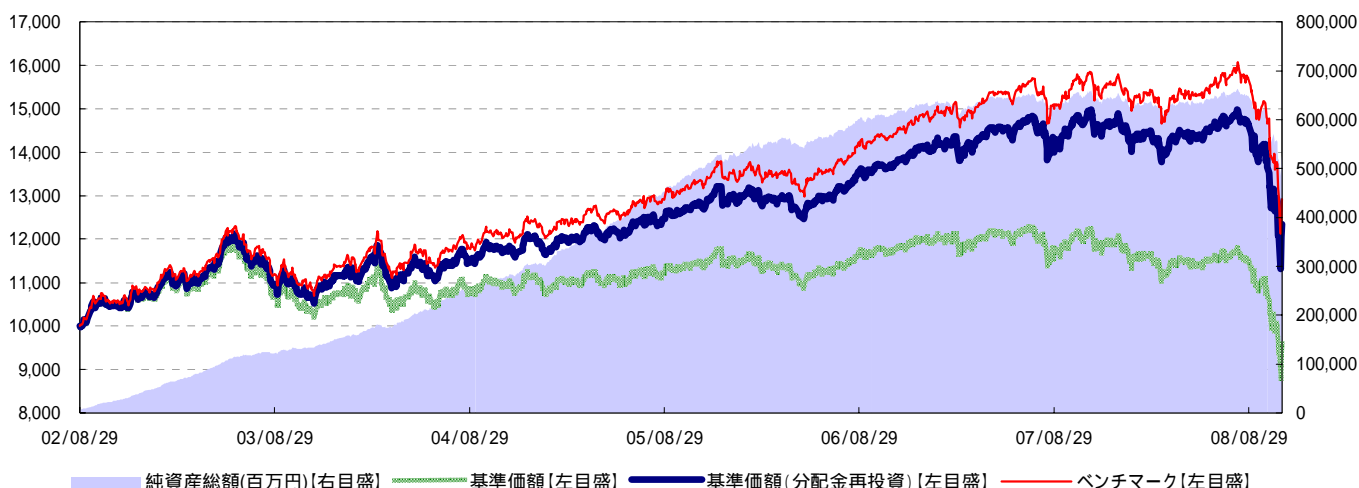
(注) 本資料中のグラフ・表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。なお、市場の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。基準価額および分配金は1万口当たりです。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.05%(税抜1%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

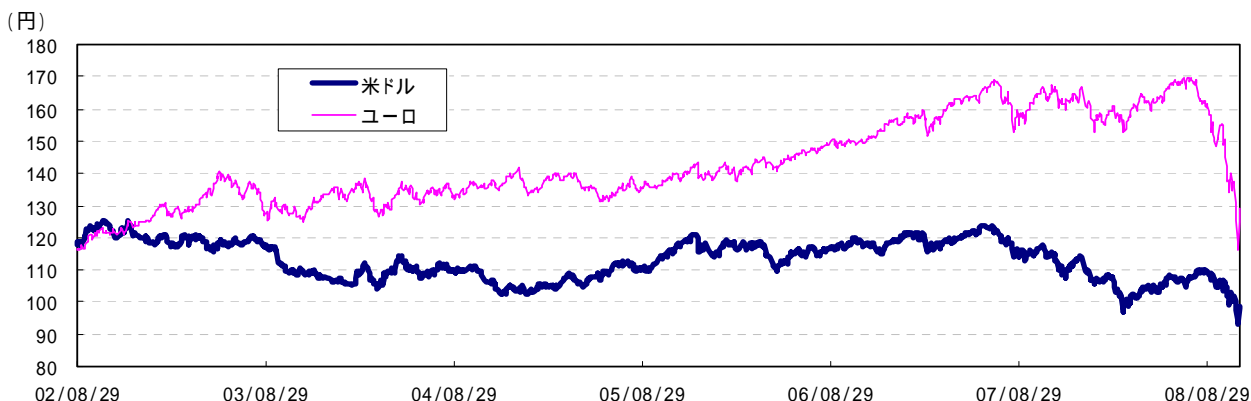
ベンチマークはシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。
 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

騰落率

	2008/9/30比	2008/8/29比	設定来
ファンド	-10.40%	-15.56%	23.49%
ベンチマーク	-13.74%	-17.46%	29.25%
差	3.33%	1.91%	-5.76%

- ・騰落率は、応当日(ただし休業日の場合は前営業日)の数値を基に算出しています。
- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

【参考】為替レートの推移



・三菱東京UFJ銀行が公表している対顧客電信売買相場の中値です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万円当たりです。
 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

ファンドの特色

日本を除く世界主要国の国債等からなる債券市場全体の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことを目指して運用を行います。

商品概要

設定日 : 2002年8月29日
 決算日 : 原則として、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
 信託期間 : 無期限
 ベンチマーク : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
 お買付け申込み : 原則として、いつでもお買付申込み、換金のお申込みができます。
 中途換金
 申込価額 : 申込受付日の翌営業日の基準価額

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

申込時に直接ご負担いただく費用
 申込手数料 : 申込価額 × 1.575% (税抜 1.5%) を上限として販売会社が定める手数料率
 換金時に直接ご負担いただく費用
 信託財産留保額 : 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率 1.05% (税抜 1%)
 その他費用(*) : 売買委託手数料、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用等
 (*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
 なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 (課税関係) 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に公社債を投資対象としますので、公社債等の有価証券市場の相場変動、組入有価証券の発行者の信用状況の変化等により、当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入有価証券の価格変動リスクや為替変動リスク等があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。/ 投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/ 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ... 三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会
 <お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034(毎営業日の9:00~17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。*)

三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

<p>市場リスク</p>	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、公社債を主要投資対象とし、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えることをめざしていることから、公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 主要投資対象である海外の公社債は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<p>信用リスク</p>	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<p>流動性リスク</p>	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。 ・当ファンドは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えることをめざして運用を行いますが、信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、債券先物取引と当該指数の動きが連動しないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比の違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、為替の評価による影響、分配金を準備するためにファンド内に資金が滞留すること等の要因により乖離を生じることがあります。 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 青森銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 伊予銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 大分銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 七十七銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第5号	日本証券業協会
株式会社 中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 山形銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号	日本証券業協会